

史實調査參考資料報告

所屬 (固有名)	全右所在地	職官		終戦時ノモノヲ 記ス
		氏名	主務	
野戰高射砲第五十大隊	不明	氏名	主務 坂 伍 市	終戦時ノモノヲ 記ス
支那事變以降ニ 於ケル自己ノ略 歴	滿洲駐屯高射砲第十聯隊附一 野戰高射砲第五十大 隊附一 野戰高射砲第五十大隊副官 第二次ノモハン事件、ラハル防空、			職ノ變更及主ナ ル參加戰闘名ヲ 記ス
所在部隊ノ編成 年月日及編制裝 備ノ概要	編成年月日ハ昭和十七年十月二十二日 編成裝備ノ概要ハ本部、高射砲連中隊、大隊段別人等 四百五十二名、火砲六門、編成			
所屬部隊作戰經 過ノ概要	昭和十八年一月、第二中隊ヲエニ、固部支隊ト共ニ先遣 大隊主力ハ同年三月一日、第六軍司令部ト共ニ第五十 一師團ニ配屬セラレ、エニ、強行上陸ノ目的ヲ以テ輸送セ ラル			最後ノ所屬部隊 ヲ主ニシ向ソノ 以前ノ所屬部隊 ノ外ヲモ概記ス
終戦(又ハ主力 ノ戰闘終了) 後ノ概況	昭和十八年三月三日、エニ、海ニ於テ敵機多量輸送船 全部(護衛駆逐艦一部ヲ除ク)撃沈セラレ、大隊ハ散乱 漂流、爾後大隊狀況ハ不明ナク、小官ハ漂流十八日ノ後、 ニユーギニア東端グッドバイナフ島附近ト思ハル、地味大ニ漂着 敵手ニ落シ			歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス
歸郷(又ハ連絡) 先				
其ノ他ノ參考事 項				
備考	將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス			